

# 高齢者歯科学分野 大学院特別講義

(医歯学先端研究特論) (生命理工医療科学  
先端研究特論) (医歯理工学先端研究特論)

演題：  
高度顎堤吸収症例における  
Denture Outline Form

講師：  
松丸悠一先生(Matsumaru  
Denture Works代表)



日時：2024年10月21日(月) 17時30分～19時00分頃予定

場所：D棟4階 歯学部特別講堂

要旨：私は現在、総義歯に特化して臨床を行っており、目標となる機能回復と、そしてそれ以上に「どのような義歯が目の前の患者に受け入れられるのか」について日々思索している。一方、総義歯臨床における義歯床の安定は、咬合を支える土台となるためにその重要性は論を俟たない。そして適切な床外形は精度の高い咬合採得、人工歯排列、咬合調整を容易にする。本講演では演者が行なっている治療用義歯を応用した臨床から得られた知見をもとに、特に下顎義歯形態に注目し、下口唇の緊張を強く認める場合、舌が強く後退しており口腔底粘膜の緊張を強く認める場合、あるいは唇側の可動粘膜が歯槽頂を超えてしまっている場合など、対応に苦慮しやすい症例を取り上げながら、高度顎堤吸収症例にて見誤りやすい、床縁および研磨面設定のポイントを取り上げたい。

担当：角南明歩 a.sunami.gerd@tmd.ac.jp  
高齢者歯科学分野 (内線5586)